



## 2020年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月13日

上場会社名 JESCOホールディングス株式会社  
 コード番号 1434 URL <https://www.jesco.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 唐澤 光子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理室長 (氏名) 二戸 慎也

TEL 03-6382-7123

四半期報告書提出予定日 2020年4月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年8月期第2四半期の連結業績(2019年9月1日～2020年2月29日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第2四半期	4,366	12.1	74	34.8	95	13.5	81	21.7
2019年8月期第2四半期	4,967	59.1	114	365.3	110		67	

(注) 包括利益 2020年8月期第2四半期 78百万円 (22.1%) 2019年8月期第2四半期 64百万円 (49.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第2四半期	12.46	12.35
2019年8月期第2四半期	10.40	10.29

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第2四半期	10,363	3,440	30.3
2019年8月期	9,004	3,433	34.7

(参考) 自己資本 2020年8月期第2四半期 3,144百万円 2019年8月期 3,121百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期		0.00		11.00	11.00
2020年8月期		0.00			
2020年8月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	3.6	250		230		180		27.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期2Q	6,578,300 株	2019年8月期	6,575,600 株
期末自己株式数	2020年8月期2Q	4,845 株	2019年8月期	4,845 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年8月期2Q	6,572,052 株	2019年8月期2Q	6,467,868 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

### (決算説明会について)

当社は、2020年4月23日(木)に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大に伴い、参加者の皆様の健康と安全確保を第一に考慮した結果、開催を中止することいたしました。当日に使用を予定しておりました決算説明会資料は、当社ホームページ(<https://www.jesco.co.jp/>)にて掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年9月1日~2020年2月29日)においては、わが国経済は、消費税率の引き上げや相次ぐ自然災害の影響等があったものの、企業を取り巻く環境は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米中貿易摩擦は若干落ち着きを見せたものの、中東・アジア地域等における地政学的リスクへの懸念、新型コロナウイルス(COVID-19)の世界規模での感染拡大等、今後の先行きに対する不透明感が高まっております。

このような経済環境と見通しの中、当社グループは、国内市場においては、長年に渡り積み上げてきた技術力と顧客からの信用力を活かし、既存事業領域における受注拡大、新規事業領域・拠点等での事業の拡充を進めつつ、引き続きコスト削減に努めてまいります。また、海外市場においては、堅調な経済成長を続けるベトナムにおける建設投資需要を積極的に取り込みつつ、引き続きODA案件工事等も含めた受注拡大を図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高43億66百万円(前年同四半期比12.1%減)、営業利益74百万円(同34.8%減)、経常利益95百万円(同13.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益81百万円(同21.7%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

## a 国内EPC事業 ※

国内EPC事業においては、JESCO株式会社において、公共システム関連工事を中心に、追加工事の受注が想定より伸びなかったこと及びそれに伴うコスト増の影響等により減収減益となりました。一方、JESCO SUGAYA株式会社においては、官公庁施設関連及び送電線関連等の電気設備関連工事を中心に大幅な増収増益となりました。この結果、当事業全体としては減収減益となりました。

当第2四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高29億49百万円(前年同四半期比7.8%減)、セグメント利益40百万円(同33.3%減)となりました。

## b アセアンEPC事業 ※

アセアンEPC事業においては、JESCO ASIA JOINT STOCK COMPANYにおいて、新規顧客の獲得等により、電気・機械を中心とした設計業務の出来高が増加し、工事案件も大幅に増加した結果、増収増益となりました。また、JESCO HOA BINH ENGINEERING JOINT STOCK COMPANYにおいては、ホーチミン市の大型集合住宅の電気設備等の工事において、工期の遅延、貸倒引当金の追加繰入の影響等により減収減益となりました。この結果、当事業全体としては減収減益となりました。

当第2四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高13億46百万円(前年同四半期比21.0%減)、セグメント損失7百万円(前年同四半期はセグメント利益22百万円)となりました。

## c 不動産事業

不動産事業においては、当第2四半期連結会計期間に取得したJESCO目黒ビルの影響等により増収となり、引き続き安定した収益事業となっております。

当第2四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高71百万円(前年同四半期比9.4%増)、セグメント利益38百万円(同29.9%減)となりました。

※ EPC = Engineering (設計)、Procurement (調達)、Construction (建設) の略

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、52億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億46百万円の減少となりました。これは、現金及び預金が4億90百万円減少し、未成工事支出金が4億12百万円増加したこと等によるものであります。当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、51億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億5百万円の増加となりました。これは、JESCO目黒ビルの取得等により、有形固定資産が15億33百万円増加したこと等によるものであります。この結果、当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、103億63百万円となり、13億58百万円の増加となりました。

### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、40億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億5百万円の増加となりました。これは短期借入金7億85百万円、未成工事受入金が1億56百万円増加し、支払手形・工事未払金等が4億36百万円減少したこと等によるものであります。当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、29億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億46百万円の増加となりました。これは、長期借入金9億40百万円増加したこと等によるものであります。この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、69億22百万円となり、13億51百万円の増加となりました。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、34億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円の増加となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末の34.7%から当第2四半期連結会計期間末は30.3%になりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億26百万円減少し、9億18百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、未成工事受入金の増加1億52百万円等の増加要因に対し、仕入債務の減少4億57百万円、たな卸資産の増加4億11百万円等の減少要因により、6億32百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は5億2百万円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出15億56百万円等の減少要因により、13億69百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は2億8百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入8億67百万円、長期借入れによる収入10億円等の増加要因に対し、短期借入金の返済による支出81百万円、配当金の支払額72百万円等の減少要因により、16億72百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は2億37百万円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の通期連結業績予想につきましては、2019年10月15日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

ただ、今後の新型コロナウイルス（COVID-19）の更なる感染拡大及び緊急事態宣言による業界及び当社グループへの影響については、現時点では予測できません。

今後、開示しております通期連結業績予想に変更がある場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,639,831	1,148,905
受取手形・完成工事未収入金等	3,009,923	2,950,921
未成工事支出金	586,852	999,803
原材料及び貯蔵品	24,927	24,497
その他	287,939	290,971
貸倒引当金	△156,648	△168,632
流動資産合計	5,392,826	5,246,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,705,119	2,006,675
減価償却累計額	△651,966	△680,021
建物及び構築物(純額)	1,053,152	1,326,654
機械装置及び運搬具	96,511	94,903
減価償却累計額	△86,561	△85,852
機械装置及び運搬具(純額)	9,949	9,050
土地	2,199,981	3,448,150
リース資産	191,176	211,526
減価償却累計額	△185,222	△189,078
リース資産(純額)	5,953	22,448
建設仮勘定	1,566	—
その他	238,252	238,271
減価償却累計額	△219,106	△221,280
その他(純額)	19,145	16,990
有形固定資産合計	3,289,749	4,823,294
無形固定資産		
のれん	10,377	9,340
その他	21,120	20,090
無形固定資産合計	31,498	29,431
投資その他の資産		
投資有価証券	132,479	141,317
繰延税金資産	52,536	55,000
その他	128,510	91,307
貸倒引当金	△31,691	△31,691
投資その他の資産合計	281,834	255,934
固定資産合計	3,603,082	5,108,660
繰延資産		
社債発行費	9,081	8,542
繰延資産合計	9,081	8,542
資産合計	9,004,989	10,363,668

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,019,337	1,582,396
短期借入金	81,415	867,014
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	20,441	70,587
リース債務	6,066	5,714
賞与引当金	57,586	66,292
工事損失引当金	37,759	6,444
未払法人税等	18,429	—
未成工事受入金	991,182	1,147,634
その他	316,592	208,403
流動負債合計	3,598,812	4,004,488
固定負債		
社債	375,000	350,000
長期借入金	823,525	1,763,960
リース債務	3,364	21,044
繰延税金負債	114,173	117,843
退職給付に係る負債	185,647	193,968
長期末払金	329,491	329,491
資産除去債務	16,382	15,295
その他	124,717	126,714
固定負債合計	1,972,301	2,918,316
負債合計	5,571,114	6,922,804
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	971,191	971,488
資本剰余金	890,715	891,012
利益剰余金	1,335,649	1,345,233
自己株式	△25	△25
株主資本合計	3,197,530	3,207,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,120	△4,400
為替換算調整勘定	△63,955	△59,037
その他の包括利益累計額合計	△76,076	△63,437
非支配株主持分	312,421	296,593
純資産合計	3,433,875	3,440,864
負債純資産合計	9,004,989	10,363,668

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
売上高	4,967,038	4,366,752
売上原価	4,423,770	3,870,495
売上総利益	543,268	496,256
販売費及び一般管理費	428,898	421,733
営業利益	114,370	74,523
営業外収益		
受取利息	3,412	10,217
受取配当金	160	11
為替差益	—	16,473
作業屑売却益	3,319	1,650
受取精算金	4,109	—
その他	4,014	10,104
営業外収益合計	15,017	38,457
営業外費用		
支払利息	13,680	13,389
その他	4,807	3,611
営業外費用合計	18,487	17,001
経常利益	110,899	95,978
特別利益		
受取保険金	—	11,221
特別利益合計	—	11,221
特別損失		
固定資産除却損	9,034	4,982
災害による損失	—	8,166
たな卸資産処分損	—	17,145
特別損失合計	9,034	30,294
税金等調整前四半期純利益	101,864	76,906
法人税等	23,094	13,372
四半期純利益	78,770	63,533
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11,525	△18,329
親会社株主に帰属する四半期純利益	67,244	81,862



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
四半期純利益	78,770	63,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,267	7,720
為替換算調整勘定	△10,055	7,419
その他の包括利益合計	△14,322	15,139
四半期包括利益	64,447	78,673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,478	94,501
非支配株主に係る四半期包括利益	7,969	△15,828

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	101,864	76,906
減価償却費	51,339	41,847
のれん償却額	1,138	1,108
固定資産除却損	9,034	4,982
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,646	8,277
賞与引当金の増減額(△は減少)	13,986	8,705
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,376	10,755
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△19,642	△31,315
受取利息及び受取配当金	△3,573	△10,228
支払利息及び割引料	14,289	13,922
その他の営業外損益(△は益)	△444	—
売上債権の増減額(△は増加)	305,833	71,015
たな卸資産の増減額(△は増加)	△287,500	△411,490
仕入債務の増減額(△は減少)	△542,075	△457,981
未払消費税等の増減額(△は減少)	△83,262	△11,040
未成工事受入金の増減額(△は減少)	447,355	152,117
その他の資産の増減額(△は増加)	72,576	29,096
その他の負債の増減額(△は減少)	△172,165	△96,351
小計	△87,515	△599,673
利息及び配当金の受取額	3,532	10,217
利息の支払額	△14,328	△13,165
法人税等の支払額	△403,908	△29,944
営業活動によるキャッシュ・フロー	△502,219	△632,566
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	592,642
定期預金の預入による支出	△111,602	△426,328
固定資産の取得による支出	△6,694	△1,556,672
投資有価証券の取得による支出	△98,673	△1,196
その他投資等の増減額(△は増加)	8,113	22,352
投資活動によるキャッシュ・フロー	△208,858	△1,369,201

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	735,922	867,014
短期借入金の返済による支出	△827,723	△81,545
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△9,377	△9,419
社債の償還による支出	△25,000	△25,000
株式の発行による収入	440	594
リース債務の返済による支出	△17,354	△7,211
配当金の支払額	△64,478	△72,278
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 取得による支出	△30,045	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△237,617	1,672,154
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,984	2,997
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△959,679	△326,615
現金及び現金同等物の期首残高	1,491,066	1,245,486
現金及び現金同等物の四半期末残高	531,386	918,871

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

## (セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内EPC 事業	アセアン EPC事業	不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,197,408	1,704,444	65,185	4,967,038	-	4,967,038	-	4,967,038
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	10,919	26,973	25,326	63,218	237,300	300,518	△300,518	-
計	3,208,328	1,731,417	90,511	5,030,257	237,300	5,267,557	△300,518	4,967,038
セグメント利益	60,281	22,370	54,585	137,237	△23,455	113,782	588	114,370

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であり、営業損益間の消去300,518千円及び営業損益と営業外損益間の消去588千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内EPC 事業	アセアン EPC事業	不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,949,301	1,346,122	71,328	4,366,752	-	4,366,752	-	4,366,752
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	22,230	42,835	18,180	83,245	219,300	302,545	△302,545	-
計	2,971,531	1,388,957	89,508	4,449,997	219,300	4,669,297	△302,545	4,366,752
セグメント利益 又は損失(△)	40,188	△7,923	38,241	70,506	3,126	73,633	890	74,523

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であり、営業損益間の消去302,545千円及び営業損益と営業外損益間の消去890千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。